

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ほっかいどういしかりぐんとうべつちょう 北海道石狩郡当別町	平成28年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
企画部プロジェクト推進室	0133-23-2330(内線271)	0133-23-3206	michinoeki@town.tobetsu.hokkaido.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	<p>施設整備は、農産物の販売及び農産物の付加価値向上による地域農産物の知名度向上、農業所得向上を目的としている。</p> <p>また、交流人口の増加に向けては、地域の強みである北海道内の政令指定都市である札幌市に隣接すること、また、人をひきつける食の原材料を生産しているという強みを活かし、施設内の食の提供コーナーにおいて、企業との連携(農商工連携・6次産業化)により地域農産物を活用したメニュー提供を行い、多くの交流人口を呼び込むこととしている。</p> <p>これら取り組みにより、町の農業の活性化を図ることを計画し、その効果として、以下の効果額を見込み、施設目的の達成を図る。</p>

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法				
交流人口の増加	増加者数532,700人(H32) 増加率125.84% (単位:人)				2,718,000人-1,213,700人=1,504,300人 【計画最終年度における交流人口(目標)-計画期間前直近年度における交流人口=計画区域における交流人口の増加数】 ■算出過程 国土交通省試算の計画交通量×道内道の駅の立寄率を乗じて、算出	
	現	H24	H25	H26		計
	状	392,500	397,900	423,300		1,213,700
	目	H29	H30	H31		
標	856,000	906,000	956,000	2,718,000		

第1評価指標の設定根拠

当別町の主要観光施設等の平成24年度～26年度(現状)と施設開業後の平成29年9月～31年9月(目標)における観光入込客数の増加者数を比較する。平成24年～26年の観光入込客数は1,213,700人であり、この施設整備による集客効果により、平成29年9月～31年9月の観光入込客数は、1,504,300人増の2,718,000人と見込んでいる。

第2評価指標(任意)

具体的数値目標

具体的数値目標の算出方法

農林水産物等の販売・加工促進

計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加額(108,739千円)
 =(地域産の農林水産物の販売額(144,985千円)(目標値)-地域産の農林水産物の販売額(36,246千円)(現状値))※増加額(25%) = 現状値での市場価格(農家庭先価格×1.4倍(40%)) - 目標値での手数料15%

▼①目標値(道の駅による地域農産物販売額内訳)

項目	内容	H29	H30	H31	H32	H33
テイクアウト	販売額	19,100	33,100	37,600	42,100	46,800
	原価率(35%)	6,685	11,585	13,160	14,735	16,380
	うち地域産物(50%)	3,343	5,793	6,580	7,368	8,190
プロショップ(テイクアウト)	販売額	38,600	66,200	74,500	82,800	91,100
	原価率(30%)	11,580	19,860	22,350	24,840	27,330
	うち地域産物(50%)	5,790	9,930	11,175	12,420	13,665
レストラン	販売額	21,400	36,000	39,600	43,100	46,300
	原価率(35%)	7,490	12,600	13,860	15,085	16,205
	うち地域産物(50%)	3,745	6,300	6,930	7,543	8,103
農産物直売所	販売額	62,300	106,900	120,300	133,700	147,000
農産物の販売額 計		75,178	128,923	144,985	161,030	176,958
農産物の加工販売額 計		79,100	135,300	151,700	168,000	184,200

▼②現状値(市場販売の場合)

項目	内容	H29	H30	H31	H32	H33
テイクアウト	販売額	19,100	33,100	37,600	42,100	46,800
	原価率(35%)	6,685	11,585	13,160	14,735	16,380
	うち地域産物(50%)	836	1,448	1,645	1,842	2,048
プロショップ(テイクアウト)	販売額	38,600	66,200	74,500	82,800	91,100
	原価率(30%)	11,580	19,860	22,350	24,840	27,330
	うち地域産物(50%)	1,448	2,483	2,794	3,105	3,416
レストラン	販売額	21,400	36,000	39,600	43,100	46,300
	原価率(35%)	7,490	12,600	13,860	15,085	16,205
	うち地域産物(50%)	936	1,575	1,733	1,886	2,026
農産物直売所	販売額	15,575	26,725	30,075	33,425	36,750
農産物の販売額 計		18,794	32,231	36,246	40,258	44,239
農産物の加工販売額 計		79,100	135,300	151,700	168,000	184,200

▼③=①-②増加額(市場販売の場合)

項目	内容	H29	H30	H31	H32	H33
テイクアウト	販売額	-	-	-	-	-
	原価率(35%)	-	-	-	-	-
	うち地域産物(50%)	2,507	4,344	4,935	5,526	6,143
プロショップ(テイクアウト)	販売額	-	-	-	-	-
	原価率(30%)	-	-	-	-	-
	うち地域産物(50%)	4,343	7,448	8,381	9,315	10,249
レストラン	販売額	-	-	-	-	-
	原価率(35%)	-	-	-	-	-
	うち地域産物(50%)	2,809	4,725	5,198	5,657	6,077
農産物直売所	販売額	46,725	80,175	90,225	100,275	110,250
農産物の販売額 計		56,383	96,692	108,739	120,773	132,718
農産物の加工販売額 計		-	-	-	-	-

第2評価指標の設定根拠

新設となる施設であるため、計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加額を見込んだ。

第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法			
地元農畜産物を活用した新商品(メニュー含む)の開発	施設開業時に、新商品として18商品、以降、年10商品の開発をする。		H29	H30	H31
		テイクアウト①	2	1	1
		テイクアウト②	2	1	1
		テイクアウト③	2	1	1
		レストラン	5	3	3
		プロショップ	5	3	3
		直売所	2	1	1
		計	18	10	10
<p>第3評価指標の設定根拠</p> <p>施設内の飲食提供ブースに、地元農畜産物を原材料とした商品提供とし、テイクアウトは、開業時に2商品、レストラン・プロショップは、5商品の新商品開発を要件とする。以降、1年毎に1～3の商品開発(見直し・リニューアル含む。)を行わせることとする。</p> <p>【記入要領】</p> <p>全般 事業活用活性化計画目標 ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。 ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村振興交付金実施要領別紙5の別紙に掲げる項目から選択するものとする。 ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては別紙6及び「事業活用活性化計画目標の評価指標項目の設定について」により記入すること。</p> <p>第1評価指標 ・ ・</p> <p>第2評価指標 ・ ・</p> <p>第3評価指標 ・ ・</p>					